

Sシリーズ 富士トランスデューサ

マルチスペック形測温抵抗トランスデューサ

富士Sシリーズマルチスペック形測温抵抗トランスデューサは、測温抵抗体の抵抗変化を直流の電圧・電流信号に変換するとともに入・出力絶縁を行ないます。

特長

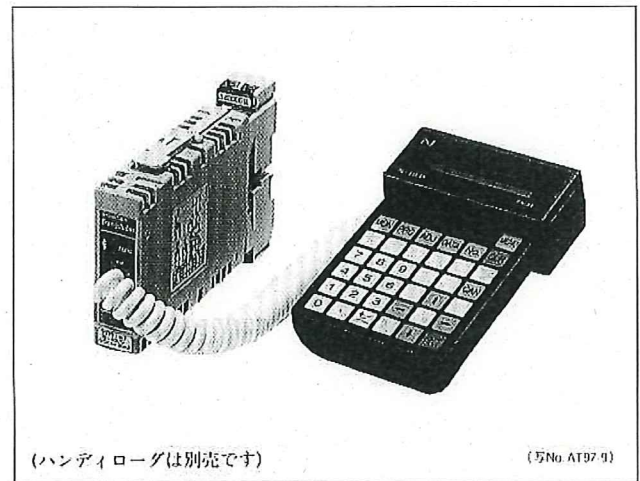
- 専用ハンディローダ(SRD形)により、入力測温抵抗体の種類および、測定温度範囲、出力ゼロ、スパン調整、バーンアウトの変更が可能です。
- 補助電源はAC85~264V, DC24V, DC110Vを選定でき、入・出力回路と絶縁しています。
- リニアライザ・バーンアウト(上限または下限)機能付です。

用途

- 電気炉・ガス炉・重油炉などの温度入力用
- 冷凍倉庫の温度入力用

仕様

形式		SMP	
絶縁方式	フォトカブラ絶縁		
基準精度	±0.2%		
温度特性	±0.02%/°C, ±0.04%/°C(入力スパン100°C以下)		
応答時間	1s以下(0→90%)		
バーンアウト時間	10秒以内		
許容外部抵抗	1線当り20Ω以下(3線とも抵抗値は揃えてください)		
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V)		
耐電圧	入力-出力	AC2000V(1分間)	
	入力-電源	AC2000V(1分間)	
	出力-電源	AC2000V(1分間)	
周囲温度・湿度	-10°C~+50°C, 90%RH以下(結露しないこと)		
補助電源	AC	85~264V, 50/60Hz 約5VA	
	DC	24V±10% 約120mA 110V±10% 約50mA	
ゼロ調整範囲	約-5~+5%		
スパン調整範囲	約90~110%		
入力測温抵抗体	JPt100Ω	-200~500°C(最小スパン50°C)	
	Pt100Ω	-200~600°C(最小スパン50°C)	
出力信号 (負荷抵抗)	電圧(DC)	0~10mV	0~100mV 0~1V 0~5V
		(10kΩ以上)	(100kΩ以下) (200Ω以上) (1kΩ以上)
	電流(DC)	0~10V	1~5V
		(2kΩ以上) (1kΩ以上)	
設定可変仕様 (ローダにより キーイン設定)	入力レンジ	センサ仕様および、センサの測定温度範囲内での最小値と最大値の設定	
	出力ゼロ, スパン調整	ゼロ側: 約±5%, スパン側: 約±10%	
	バーンアウト	上方または下方設定(初期は上方)	
質量	約180g		



(ハンディローダは別売です)

(写No. AT92.9)

形式(商品コード)説明

(WT1MP-□□□□□2)

SMP-□□□□□2

入力測温抵抗体		設計順位	
1	JPt100Ω	補助電源 0	AC85~264V, 50/60Hz
2	Pt100Ω	3	DC24V±10%
		4	DC110V±10%

※測定温度範囲	出力信号	出力信号
10	0~50°C	A DC1-5V
11	0~100°C	B DC0-5V
12	0~150°C	C DC0-10V
13	0~200°C	D DC0-1V
14	0~250°C	E DC0-10mV
15	0~300°C	F DC0-100mV
16	0~350°C	H DC4-20mA
17	0~400°C	J DC0-1mA
18	0~500°C	K DC0-5mA
19	0~600°C	L DC0-10mA
20	-20~+80°C	M DC0-16mA
21	-40~+60°C	P DC0-20mA
22	-50~+50°C	R DC1-5mA
23	-50~+100°C	T DC2-10mA
24	-50~+150°C	Z 特殊
25	-100~+100°C	
ZZ	特殊	

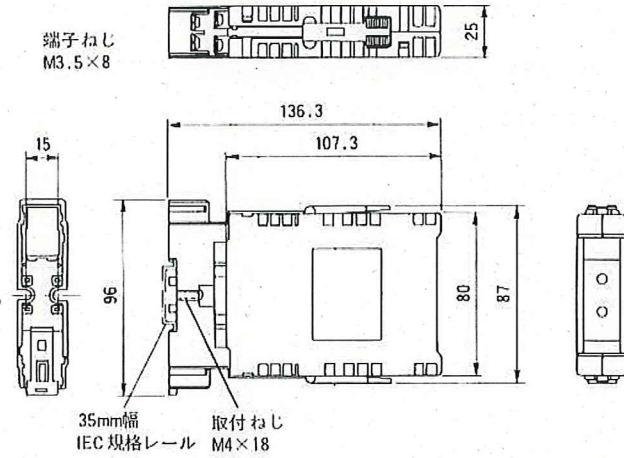
※入力測温抵抗体および測定温度範囲はローダで変更可能ですが、ご注文の際は初期設定値をご指定ください。

L, Sシリーズ 富士トランスデューサ

外形寸法図

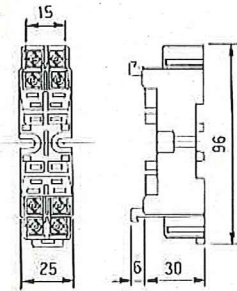
L, Sシリーズ

- ソケット取付, IECレール取付

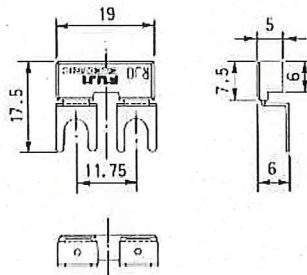


Sシリーズ部品

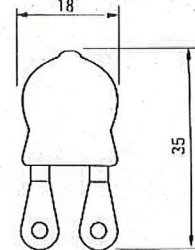
- ソケット (SK08)



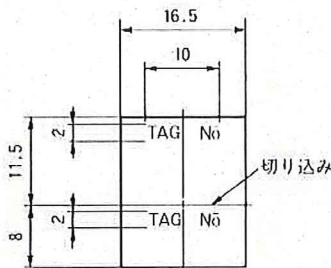
- 測温抵抗ブロック (RJC)



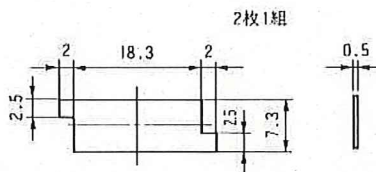
- ダイオードブロック (DID)



- タグシール (TAG)

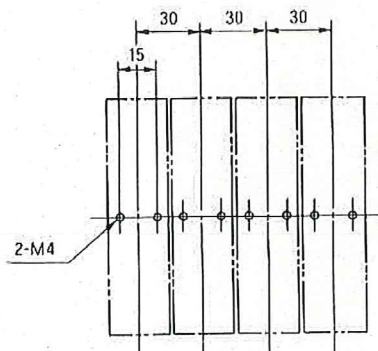


- 端子カバー (COV)



取付寸法

Sシリーズ



(注意) トランスデューサの寿命は、内部回路に使用している電解コンデンサの寿命に左右されます。
電解コンデンサの寿命は、周囲温度によって大きく変わりますので通気性を保つために各トランスデューサ間は最低でも1mm以上空けていただくようにお願いします。

富士トランスデューサ L, Sシリーズ

取付方法

L, Sシリーズ

ソケット取付

図1の様に本体ソケットをパネルまたは壁に直接取付けます。取付寸法は、取付寸法図をご参照ください。

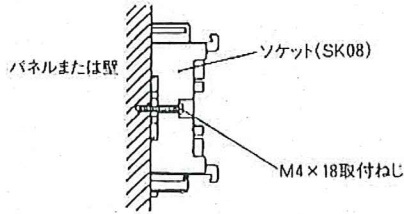


図 1

IECレール取付

ソケットを取付ける場合、図2の様にソケット底部にあるIECレール用溝の上部にレールをはめ込み、下部のスライダーにて固定します。本体の取付けは、図3の様にまっすぐに差し込みます。上下のフックが完全に噛み合うまで押し込んでください。

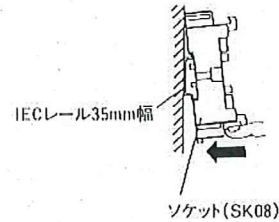


図 2

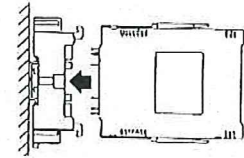


図 3

取はずし方法

ソケットをははずす場合は図4の様にスライダの角穴に(-)ドライバーを差し込み矢印の方向に引きながらソケット下部を手前に引いてください。

(注意) 本体を取りはずす場合は、図5の様に本体上下のフックを同時に広げたまま、まっすぐ手前に引き抜いてください。フックを十分に広げないまま引き抜こうとすると、ソケットを破損する事がありますのでご注意ください。

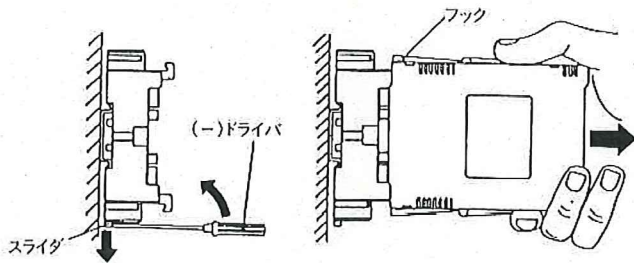
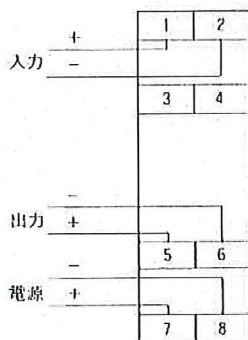


図 4

図 5

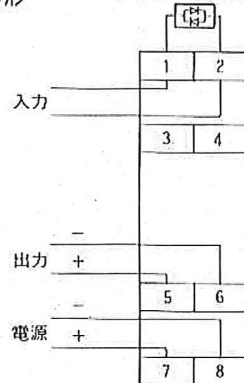
外部接続図

LDC形



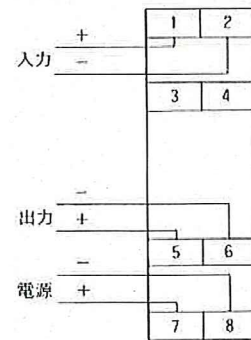
SAC, LAC形

ダイオードブロック



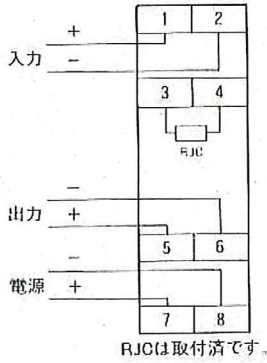
ダイオードブロックはSAC, LACの電流入力のみを取付済です。

SDC, SRV, STG形 SMD, SML, SMR形

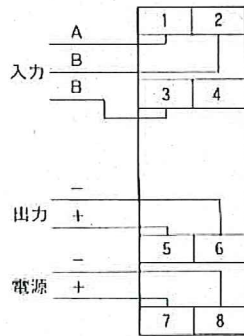


L, Sシリーズ 富士トランスデューサ

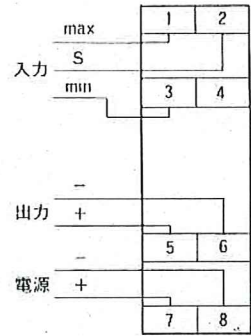
STC, SMT形



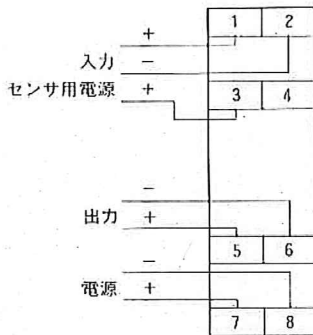
SMP形



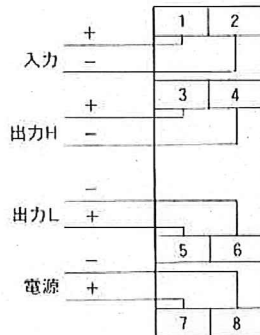
SPM形



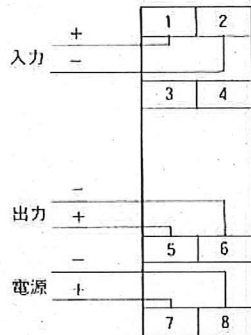
SSP形



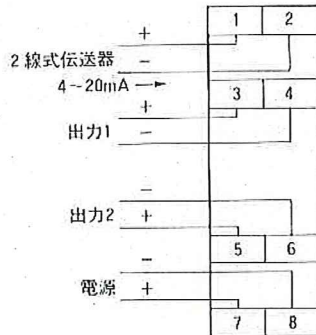
SAS形



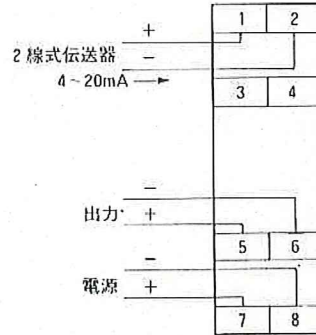
SHS, SDP, SLM形



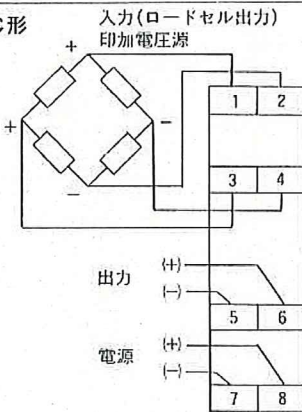
SDB形



SDY形

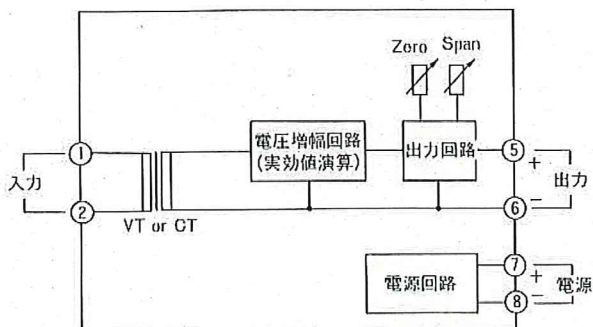


SLC形

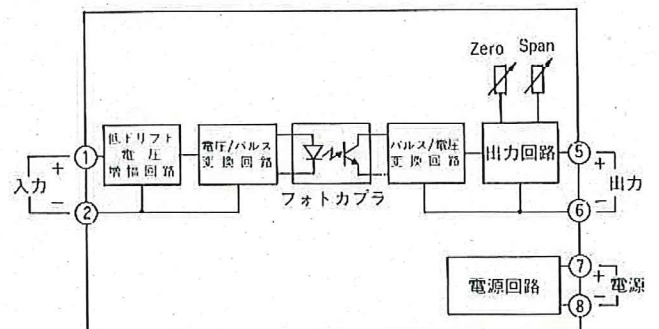


ブロック図

SAC, LAC形

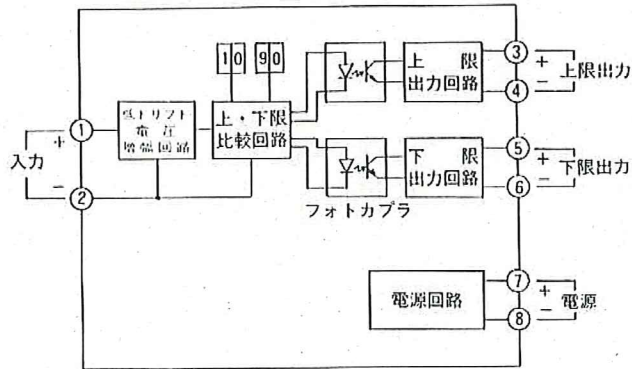


SDC, LDC, SRV, SHS形

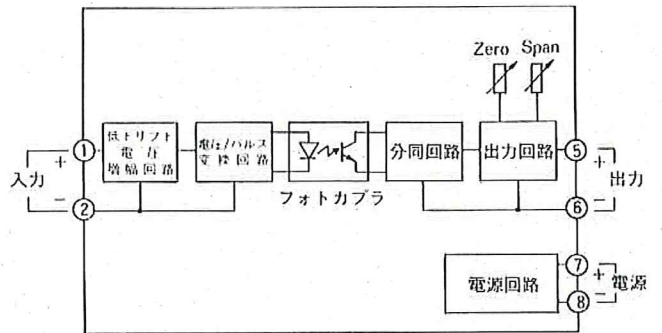


L, Sシリーズ 富士トランスデューサ

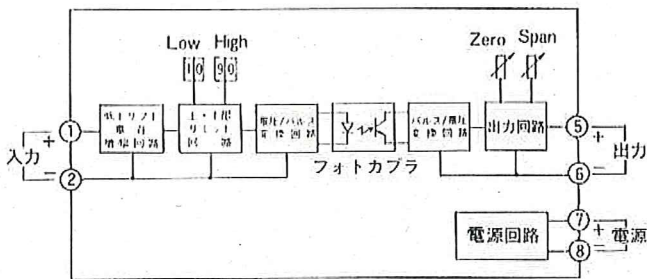
SAS形



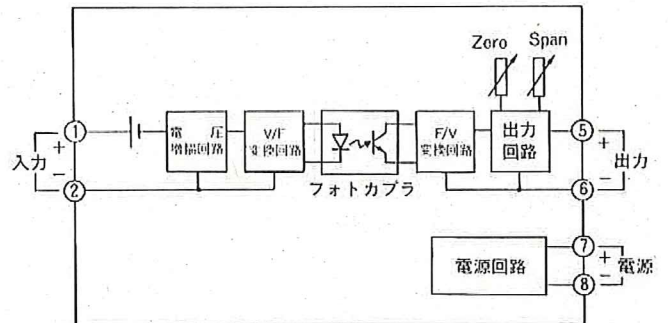
SDP形



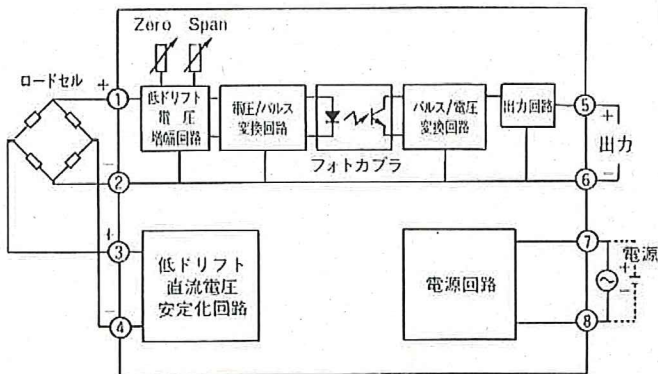
SLM形



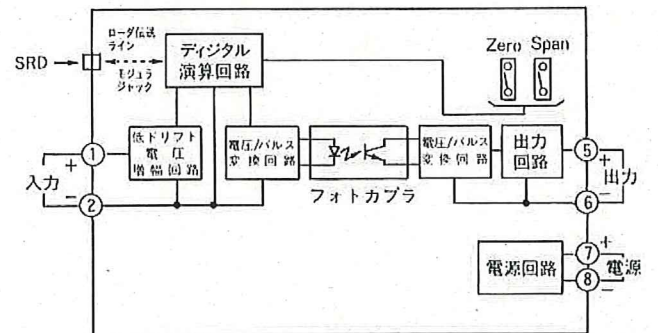
SDY形



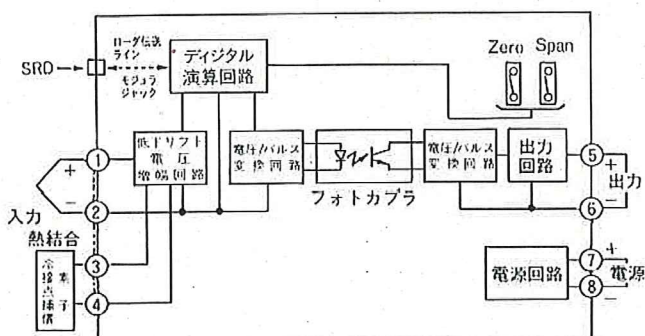
SLC形



SMD, SML, SMR形



SMT形



SMP形

